



図説・経済教育資料

# 日本の食料と 農業・農村



～みんなで考える「食」と「農」～

チャレンジ編

中学校用



目次

食料と農業・農村 なるほどQ&A.....	1
こんなこと知ってる?.....	3
農業について考えてみよう.....	4
調べてみよう.....	5
CHECK LIST.....	6
農業 もの知りキーワード.....	7
関係機関等URLリンク集.....	7



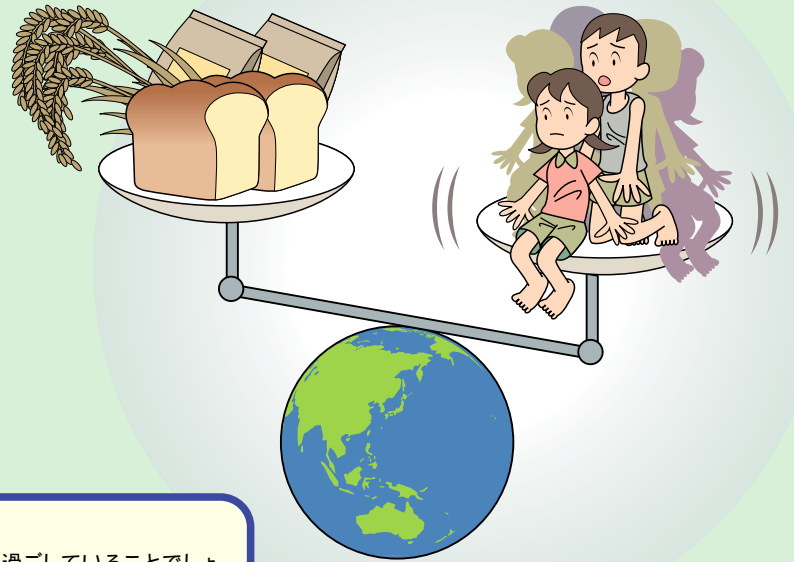
財団法人 日本経済教育センター



# 食料と農業・農村 なるほど

## Q 食料の安定供給はなぜむずかしいの？

**A** 世界的に人口が増え続けていること、それに反して食料の増産がむずかしいことが主な要因です。農産物を生産するための農地が増えていませんし、地球温暖化、エルニーニョなどの異常気象により、世界の食料需給は安定していません。ちなみに、日本では食料自給率が下がり続け、現在、食料の6割、つまり7,500万人分を海外に依存していることとなります。



### 【コラム】

みなさんは、毎日おいしいものをたくさん食べて元気に過ごしていることでしょう。でも、世界中には食べ物が足りなくて栄養不足になっている人たちがおよそ8億人もいるといわれます。1996年の世界食料サミットでは、2015年までに栄養不足人口を半分にする目標が立てられました。

## Q お米を作りたいだけ 作ってはいけないの？

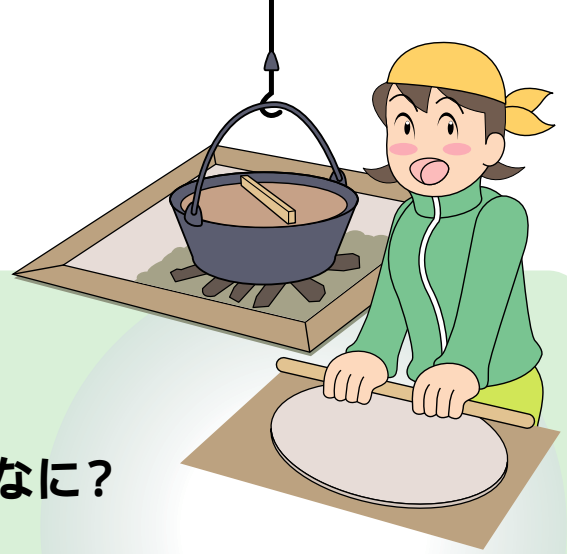
**A** 日本の農業は、水田による米作りを中心に発展してきたことはご存知ですね。ところが、最近はおはんがあまり食べられなくなり、米が余るようになっています。水田のすべてで米を作ったとすると、供給過剰になって価格が大幅に下落してしまいます。稲作農家の経営に大きな影響を及ぼすだけでなく、安定的な供給に支障をきたすおそれも予想されます。

### 要注意

昭和35年度から平成12年度までの40年間で、米の消費は4割も減少しました。逆に肉類の消費が約5.5倍も増えています。食生活が大きく変わったということですね。



# Q & A



## Q 「グリーンツーリズム」ってなに？

**A** グリーンツーリズムは農山漁村での滞在型の余暇活動で、主に自然や文化、人々との交流を楽しみます。伝統的な茅葺屋根の家に泊まったり、稲刈り・そば打ちなどの「農」「食」の体験、あるいは自然の中での森林浴、またふるさとまつりなどの地域伝統文化行事への参加などを行います。グリーンツーリズムを進めることで、都市と農山漁村の交流や、高齢化、過疎化が進む農村の活性化が期待されています。

## Q 「トレーサビリティ・システム」ってなに？

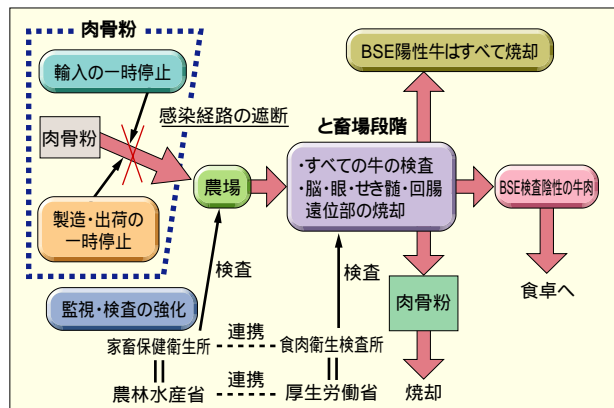
**A** 食品の生産者は誰で、どのような肥料(飼料)で育ち、いつどこで売られたのか、また、どのようなルートで売られているかなど、食品の履歴情報を確実に伝達し、消費者と生産者の「顔の見える関係」を確立するためのシステムです。牛肉については平成14年度にモデル実証を行い、平成15年度以降に導入していきます。また、青果物、豚肉、水産物にもモデル実証後、順次導入される予定です。

## 牛肉は食べても大丈夫？

BSEは「牛海綿状脳症」という牛の病気で、平成13年9月に日本でも発見されました。

BSEは脳やせき髄などの特定部位以外の部分からの感染性は確認されていません。OIE(国際獣疫事務局)の基準でも、牛肉や牛乳・乳製品はもともと安全とされています。現在は全頭検査によりBSE検査陰性のものだけが市場に出回るシステムが確立しています。

BSEの疑いのない畜産物の供給体制の構築



資料:農林水産省作成



# ■こんなこと知ってる？

# Study

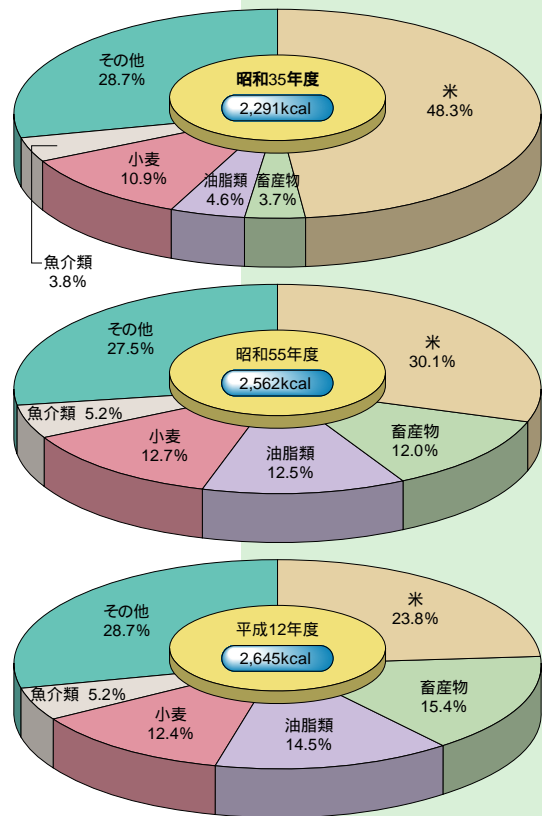
## 食料消費の動向

食生活のもっとも大きな変化は、  
お米があまり  
食べられなくなったこと。

日本の食料消費の特徴は、これまで長い間、米を中心に各地域のいろいろな産物を含めて食べられていた、いわゆる日本型食生活が西洋型の食生活に変化していることです。40年前、日本の食料消費のおよそ半分は米でしたが、徐々に少なくなり、現在はわずか4分の1弱にまで減少しています。逆に、脂質や畜産物の摂取量が多くなり、栄養バランスの崩れによる健康への影響が心配されています。一方、食品の廃棄や食べ残しも問題です。食料資源の無駄になるばかりか、環境への悪影響も指摘されています。

40年間で、米は半減、畜産物と油脂類が3~4倍に増えています。

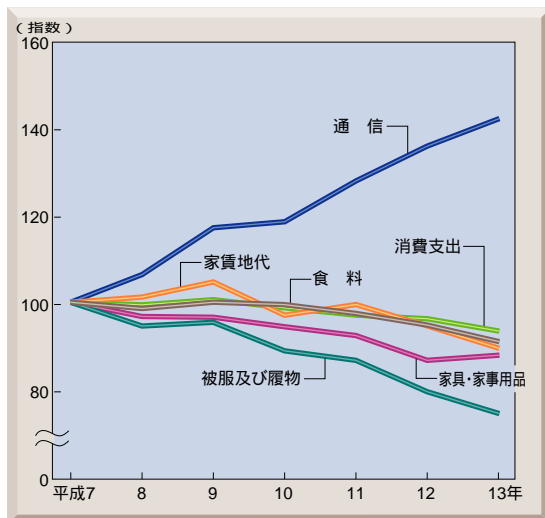
食料消費の変化



資料:農林水産省「食料需給表」

## 食料費は全体の消費支出に比べて下回って推移しています。

費目別消費支出の推移 (全国・全世界 X 平成7年=100)



資料:総務省「家計調査」  
注:平成7年を100として、指数化したものである。

# ■ 農業について考えてみよう

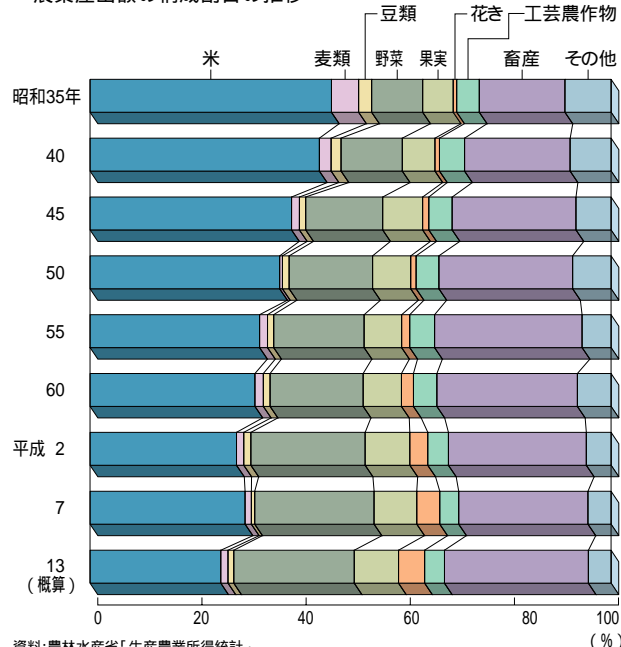
Thinking Time!

## 1. 米の生産が減るとどうなるんだろう？

### <考えるヒント>

高温多雨の気候に適した水田での米作りを中心に、日本の農業は発展してきました。米は日本の主食である重要な作物ですが、その米の生産が減ると農業だけでなく、日本の自然環境にも影響が出てきます。日本の農業を営む農村地域は、残された豊かな自然が、洪水を防ぎ、水源を育て、多様な生物を育み、また美しい景観も維持しています。そうした農業の多面的機能までが失われることになりかねません。

農業産出額の構成割合の推移



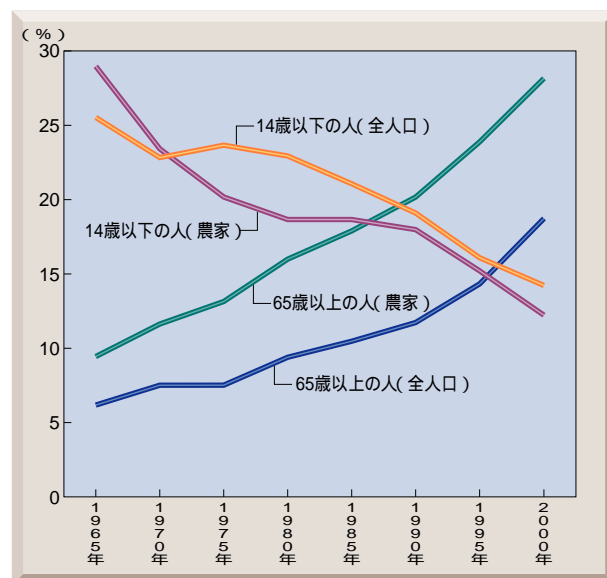
資料:農林水産省「生産農業所得統計」  
注:1)当核年を中心とした5年平均の数値である。ただし平成13年については、単年の数値である。  
2)50年以前は沖縄を含まない。

## 2 過疎化・高齢化が進む農村に必要なものはなんだろう？

### <考えるヒント>

経済成長とともに工業や商業、サービス業が発展し、農村からたくさん人が都市へ移り住むようになり、やがて都市の過密化、農村の過疎化・高齢化が顕著に現れてきました。しかし最近になって、都市から農村に移り住む人や新規就農者も増え始め、都市と農村の交流が見られるようになっていきます。これからは、農村も地域ぐるみでの受入体制を整えることが大切でしょう。

日本の全人口及び農家人口のうち、65歳以上の人と14歳以下の人の占める割合の変化



資料:農林水産省「農業センサス」、総務省「国勢調査」  
注:ここでいう農家とは、経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯、または経営耕地面積が10a未満であっても年間の農産物総販売金額が15万円以上あった世帯のことである。



# 調べてみよう

みなさんの住んでいる地域の農畜生産品を知っていますか？  
 全国でもっとも多く作られているものは何ですか？  
 日本の北と南、日本海側と太平洋側ではどんな違いがありますか？  
 水稲、野菜、果樹、畜産に特化している都道府県はどこでしょう？

## 最近の農業生産の動向

日本の農業生産は、平成12年度には数量で増加しましたが、生産農業所得は減少しました。米は作付面積が減りましたが、10アール当たりの収量が増加したため前年を上回りました。麦・豆類は、作付面積が増加し、なおかつ10アール当たりの収量も増加したので、ともに前年を15%前後上回っています。また、みかん、りんごなどの果実は7%ほど下回りました。畜産は横ばいといってもよい、0.2%減でした。

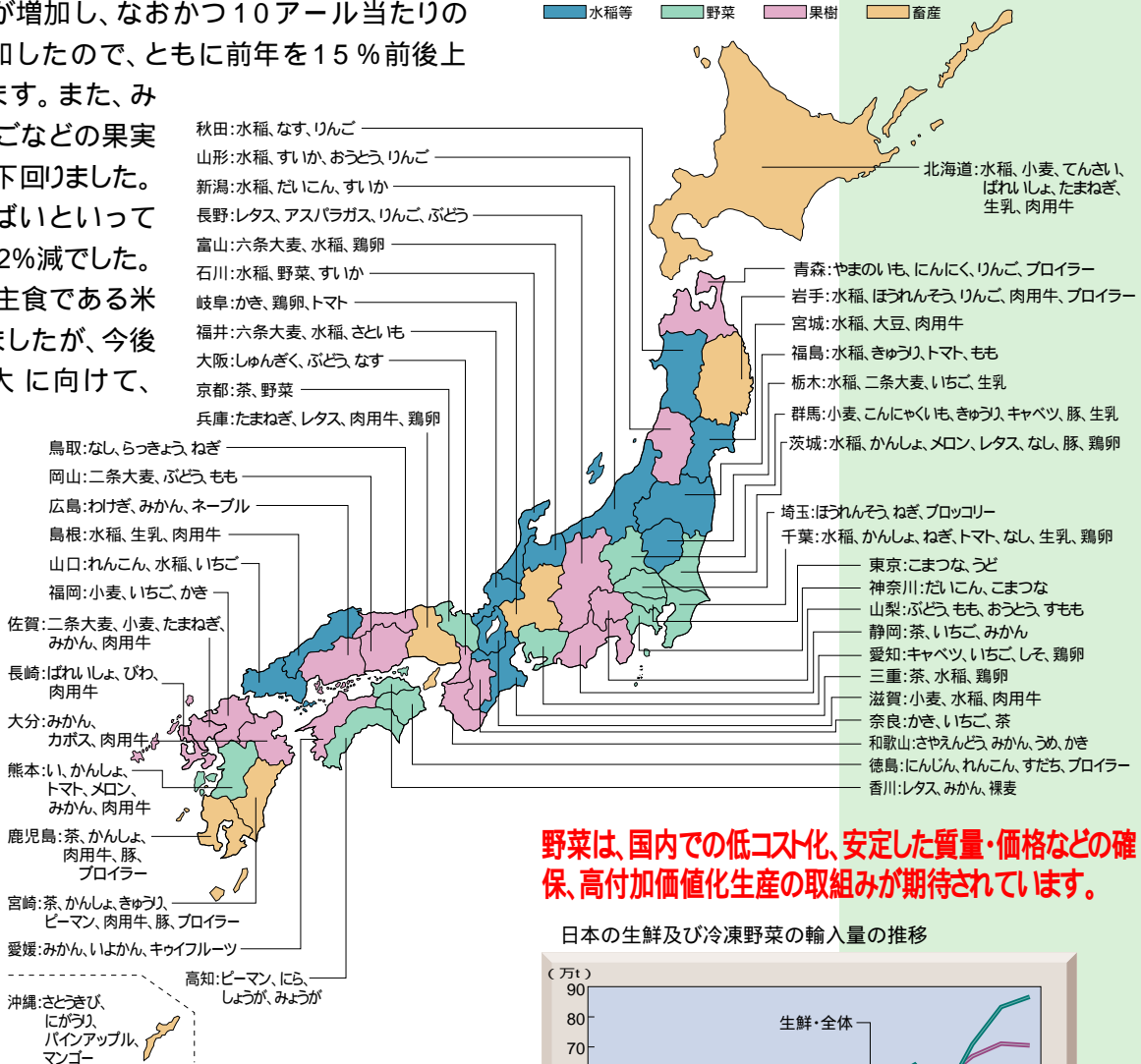
日本の主食である米は増収しましたが、今後の消費拡大に向けて、

国民運動的な展開が必要でしょう。みなさんも健康によいごはんを、たくさん食べましょう。

都道府県別の特徴的な農業生産品目

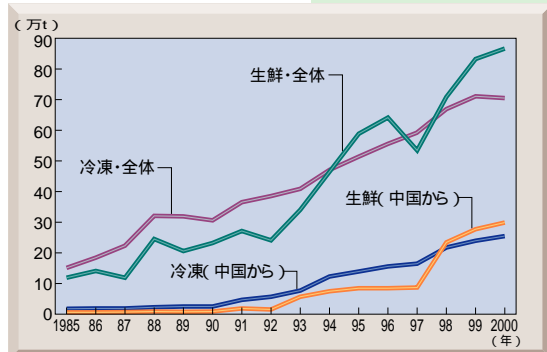
(全国平均に対する特化度が最も高い部門)

■ 水稲等 ■ 野菜 ■ 果樹 ■ 畜産



**野菜は、国内での低コスト化、安定した質量・価格などの確保、高付加価値化生産の取組みが期待されています。**

日本の生鮮及び冷凍野菜の輸入量の推移



資料:財務省「貿易統計」

資料:農林水産省「生産農業所得統計」、「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「地域特産野菜の生産状況」、「果樹栽培状況等調査」、「畜産統計」、「生乳乳製品統計」、「畜産物流通統計」

注:1)農産物、工業農作物等は平成13年産、野菜、果樹については12年産、特産野菜は10年産、特産果樹は11年産。畜産のうち、生乳、鶏卵は12年産生産量、他は13年2月1日現在の飼養頭羽数による。  
 2)全国における作付面積もしくは生産量等の順位が上位でかつ、各都道府県内において農業粗生産額の上位を占めるものを選定した。また、全国的に知名度の高い品目等も掲載している。  
 3)全国平均に対する特化度が高い部門については、都道府県の農業粗生産額における部門別の構成比を全国における部門別の構成比で除した係数(特化係数)を算出し、当該都道府県において、係数の最も高い部門を掲出した。全国平均の粗生産額の構成と比較した当該都道府県の特色を示すものである。

# ■ CHECK LIST

Challenge!

## Check 1.

次のうち日本の食料自給率で正しい答はどれでしょう。

- a. 世界で2番目を誇っている
- b. 主要先進国のうちで最低の水準
- c. 年々着実に上昇している

## Check 2.

食料の消費はどう推移しているでしょう。

- a. 畜産物は年々減少し、40年前の半分ほどになっている
- b. 魚介類は年々大幅に増加し、食料消費の3分の1を占めている
- c. 米は年々減少し続け、40年前の半分ほどになっている

## Check 3.

食品のトレーサビリティ・システムの意味で正しいのはどれでしょう。

- a. 食品の栄養成分を知るための表示システム
- b. 食品を安心して買うための履歴情報システム
- c. 遺伝子組換え農産物に付けられた表示システム

## Check 4.

日本の野菜の輸出入で正しいのはどれでしょう。

- a. 年々輸入が増大している
- b. アジア各国に輸出している
- c. 生産調整しているのでほとんど輸出入はしていない

## Check 5.

農村の課題ではないのはどれでしょう。

- a. 高齢化
- b. 土地不足
- c. 過疎化

**Answer Check!**

答は最後のページにあるよ。確認してみよう!

# ■ 農業 もの知りキーワード

Key Word

## 【米の生産調整】

米の生産力(潜在生産能力約1,400万トン)が、需要量(約1,000万トン)を大幅に上回っているなかで、需給と価格の安定を図るために作付けを抑制すること。

## 【食料自給率】

食料消費に食料生産がどの程度対応しているかを表す数字。「日本の食料自給率」として主に用いられるのは、カロリーベースの食料自給率(供給熱量総合食料自給率)で、現在約40%です。

## 【世界食料サミット】

飢餓と栄養不足を撲滅し、将来の食料確保のため、FAO(国際連合食糧農業機関)が1996年11月にイタリアのローマで開催。2015年までに、飢餓に苦しむ人々の数を半分に減らす目標を定めました。

## 【OECD】

経済協力開発機構Organization for Economic Cooperation and Development の略称。世界の経済発展、発展途上国の援助などを図ることを目的とし、ヨーロッパ諸国、アメリカ合衆国、カナダ、日本など主な先進国である30か国からなる国際機関です。

## 【農家の種類】

平成2年から経営耕地面積10アール以上または年間の農産物販売金額15万円以上の農家について、販売農家(主業農家・準主業農家・副業的農家)と自給的農家に分ける統計のとり方をしています。

販売農家.....経営耕地面積30アール以上または農産物販売金額50万円以上の農家

主業農家.....農業所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家

準主業農家...農外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家

副業的農家...主業農家、準主業農家以外の販売農家

自給的農家.....販売農家以外の農家(農作物をほとんど売らず、主に自家消費用の生産を行っている農家。)

CHECK LIST(6ページ)の答:

**Check 1.=b**    **Check 2.=c**    **Check 3.=b**    **Check 4.=a**    **Check 5.=b**

## 関係機関等 URLリンク集

農林水産省ホームページ <http://www.maff.go.jp/>

日本の食料・農業・農村について、国の政策や研究、資料、統計などの情報が掲載されています。「食と農のものしり百科」や「食と農のQ&A」のコーナーなども参考にしてみましょう。

e-shokuseikatsu.com <http://www.e-shokuseikatsu.com/>

旬の素材を使った毎日のレシピ、食生活診断、楽しい食生活クイズなど食生活に関する様々な情報が満載! 皆様も、是非一度御覧になってはいかがでしょうか。

財団法人日本経済教育センターホームページ <http://www.keikyo-center.or.jp/>

当資料のすべてのページを掲載しています。図表、データなどプリントアウトしてご利用ください。